

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	音楽
学年・年間授業時数	1 学年・4 5 時間
使用教科書(出版社)	音楽のおくりもの (教育芸術社)
使用副教材(出版社)	マイソング (教育芸術社)
教科担当者名	小野寺 裕則

### 1 教科の目標

<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
--

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識 技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付けているかどうか。	実技テスト 定期考査
思考 判断 表現	・音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているかどうか。	ワークシート 実技テスト
主体的に 学習に取り組む 態度	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身につけることができたかどうか。	ワークシート 授業の取組

期	月	週	単元・教材名・配当時数	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	○全体の曲想を感じ取って ・校歌 ・夢の翼	・曲想の変化を感じ取り、歌唱表現の工夫を試して声を合わせて歌う。 ・歌詞の発音、子音の立て方や母音の伸ばし方の技能を高める。	・正しい発声法を身につける。 ・清潔な日本語の発音を心がける。
		2			
		3			
		4			
	5	5	○曲想を豊かに感じ取って ・四季より「春」 ・「魔王」	・音楽を形づくっている要素を知覚感受する。 ・知覚感受したことを根拠をもって言葉で説明する。	・それぞれの季節の特徴的な様子を楽器がどのように表現しているのか感じ取る。 ・登場人物によって表現が工夫されていることを感じ取る。
		6			
		7			
		8			
	6	9	○言葉と旋律の関わり ・夏の思い出	・言葉の抑揚と旋律の関わり方を知覚し、表現を工夫して歌う。 ・日本語のもつ発音の特徴について理解し、表現を工夫して歌う。	・言葉の抑揚と旋律の関わり方を知覚する。
		10			
		11			
		12			
	7	13	○言葉とリズムの関わり ・くいしんぼうのラップ ○アルトリコーダーの音色を生かして ・かっこう ・喜びの歌	・言葉のリズムをリズム譜に表し、拍の流れののって打つ。 ・曲の構成（反復・変化・対称）を工夫しリズムアンサンブルをする。 ・表現の工夫にふさわしい適切な音色を出す技能を身につけ、アンサンブルして演奏する。	・言葉のリズムをリズム譜に表してリズムを打つ。  ・タンギング、指使い等基礎的な技能を身につけて演奏する。
		14			
		15			
		16			
8	17				
後期	9	18	○混声合唱の導入 ・夢の世界を	・各声部の音域を学び、それぞれのパートにふさわしい歌い方や全体の響きを理解し、表現を工夫して歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を身につける。
		19			
		20			
		21			
	10	22	○混声合唱のふかまり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。
		23			
		24			
		25			
	11	26	○混声合唱のふかまり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。
		27			
		28			
		29			
	12	30	○情景と曲想のかかわり ・ブルタバ	・音楽の特徴とその文化、歴史と関連づけて解釈し、価値を考えて言葉で説明する。	・作曲家が曲を生み出した背景を考察する。 ・楽器で表現された川の情景を感じ取りながら聴取する。
		31			
		32			
		33			
1	34	○声部の役割と全体の響きを生かして ・変わらないもの ほか	・声部の役割と全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。	
	35				
	36				
	37				
2	38	○日本の伝統音楽 ・和太鼓でアンサンブル	・和太鼓の特徴や基礎的な奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する。 ・2つのリズムの打ち方を工夫し、アンサンブルする。	・和太鼓の特徴、基礎的な奏法を生かしてアンサンブルする。	
	39				
	40				
	41				
3	42				
	43				
	44				
	45				

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	音楽
学年・年間授業時数	2学年・35時間
使用教科書(出版社)	音楽のおくりもの(教育芸術社)
使用副教材(出版社)	マイソング(教育芸術社)
教科担当者名	小野寺 裕則

### 1 教科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識 技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けているかどうか。	実技テスト 定期考査
思考 判断 表現	・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているかどうか。	ワークシート 実技テスト
主体的に 学習に取り組む 態度	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身につけることができたかどうか。	ワークシート 授業の取組

期	月	週	単元・教材名・配当時数	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	○全体の曲想を感じ取って ・語り合おう	・旋律の重なり方を知覚感受し、思いや意図をもって声を合わせて歌う。 ・声部の役割と全体の響きを理解し、音楽表現を工夫して歌う。	・旋律の重なり方を生かした発声や歌い方を工夫して歌う。
		2			
		3			
		4			
	5	5	○対位法の音楽 ・小フーガト短調	・旋律の重なり方、楽器の音色を知覚感受し、そのよさや価値について根拠をもって批評する。 ・フーガ形式について理解する。	・旋律の重なり方、楽器の音色を知覚し、感じ取ったことを根拠をもって批評する。
		6			
		7			
		8			
	6	9	○アルトリコーダーの音色を生かして ・アメージング・グレイス	・表現の工夫にふさわしい適切な音色を出す技能を身につけ、アンサンブルして演奏する。 ・右手を加えた指使いの技能を身につけ、表現を工夫して演奏する。	・タンギング、指使い等基礎的な技能を身につけて演奏する。
		10			
		11			
		12			
	7	13	○混声合唱のふかまり ・輝くために 他	・声部の役割と全体の響き、歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫して声を合わせて歌う。 ・子音の立て方や母音の伸ばし方、ブレスのコントロール、フレーズを生かしたブレスの仕方など基礎的な技能を身につける。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を身につける。
		14			
		15			
	8	16			
		17			
9	18	○混声合唱の高まり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響き、歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫して声を合わせて歌う。 ・子音の立て方や母音の伸ばし方、ブレスのコントロール、フレーズを生かしたブレスの仕方など基礎的な技能を生かして音楽表現を工夫して歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。	
	19				
	20				
	21				
	22				
10	23	○ソナタ形式を理解して ・交響曲第5番ハ短調「運命」 ・ピアノソナタ「熱情」他	・音楽を形づくっている要素感じ取り、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・ソナタ形式を理解する。 ・感じ取ったことを根拠をもって批評する。	
	24				
	25				
	26				
11	27	○日本歌曲 ・花の街 ・早春賦 他	・日本語のもつ抑揚と旋律の関わりを理解し、旋律のまとまりを感じながら音楽表現を工夫して歌う。 ・日本語の特徴的な発音を理解し、技能を高めて歌う。	・日本語の抑揚を感じ取りながら旋律の動きにふさわしい歌い方を身につけて歌う。	
	28				
	29				
12	30				
	31				
1	32	○箏の表現を生かして ・さくらさくら	・箏の音色に親しみ、基礎的な奏法を身につけて演奏する。 ・箏の音色や基礎的な奏法を生かして2小節の前奏を創作する。 ・音楽を形づくっている要素を	・箏の基礎的な奏法を身につけて演奏する。	
	33				
2	34	○絵画と音楽の関わり ・組曲「展覧会の絵」	・歌詞の内容や曲想にふさわしい発音の仕方、強弱の変化のさせ方等を生かして音楽表現を工夫しながら歌う。	・絵画と音楽の関わりを感じ取り、根拠をもって批評する。	
	35				
	36				
	37				
3	38	○歌詞の内容や曲想を感じ取って ・青春の1ページ 他	・歌詞の内容や曲想にふさわしい発音の仕方、強弱の変化のさせ方等を生かして音楽表現を工夫しながら歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。	
	39				
	40				
	41				
後期	3	○歌詞の内容や曲想を感じ取って ・青春の1ページ 他	・歌詞の内容や曲想にふさわしい発音の仕方、強弱の変化のさせ方等を生かして音楽表現を工夫しながら歌う。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を高める。	
					42
					43
					44
		45			

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	音楽
学年・年間授業時数	3学年・35時間
使用教科書(出版社)	音楽のおくりもの(教育芸術社)
使用副教材(出版社)	マイソング(教育芸術社)
教科担当者名	小野寺 裕則

### 1 教科の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識 技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けているかどうか。	実技テスト 定期考査
思考 判断 表現	・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているかどうか。	ワークシート 実技テスト
主体的に 学習に取り組む 態度	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を身につけることができたかどうか。	ワークシート 授業の取組

期	月	週	単元・教材名・配当時数	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	○歌詞の内容や曲想の変化を味わって ・花	・反復、変化等の構成に興味を持ち、主体的に学習に取り組む。 ・リズム、速度、旋律、強弱などを知覚し、それらの特質を感受しながら、表現を工夫する。 ・歌詞の内容や曲想、言葉の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身につける。	・曲の構成について、それらの特徴について分かったことを表現する。 ・曲の雰囲気について感じたことを、説明する。
		2			
		3			
		4			
	5	5	○歌詞の内容や曲想の変化を味わって ・花	・反復、変化等の構成に興味を持ち、主体的に学習に取り組む。 ・リズム、速度、旋律、強弱などを知覚し、それらの特質を感受しながら、表現を工夫する。 ・歌詞の内容や曲想、言葉の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身につける。	・曲の構成について、それらの特徴について分かったことを表現する。 ・曲の雰囲気について感じたことを、説明する。
		6			
		7			
		8			
	6	9	○声部や構成を生かして ・ボレロ	・音楽を形作っている要素や構成に関心を持ち表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む。 ・音色、リズム、旋律、強弱、構成などを知覚し、根拠を持ってそれらを批評する。	・音楽の特徴について根拠を持って批評文を書く。
		10			
		11			
		12			
	7	13	○アルトリコーダーの音色を生かして	・表現の工夫にふさわしい適切な音色を出す技能を身につけ、アンサンブルして演奏する。 ・右手を加えた指使いの技能を身につけ、表現を工夫して演奏する。	・タンギング、指使い等基礎的な技能を身につけて演奏する。
14					
15					
16					
8	17				
後期	9	18	○混声合唱のふかまり ・輝くために  ○混声合唱の高まり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響き、歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫して声を合わせて歌う。 ・子音の立て方や母音の伸ばし方、ブレスのコントロール、フレーズを生かしたブレスの仕方など基礎的な技能を身につける。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を身につける。
		19			
		20			
		21			
	10	22	○混声合唱のふかまり ・輝くために  ○混声合唱の高まり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響き、歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫して声を合わせて歌う。 ・子音の立て方や母音の伸ばし方、ブレスのコントロール、フレーズを生かしたブレスの仕方など基礎的な技能を身につける。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を身につける。
		23			
		24			
		25			
	11	26	○混声合唱の高まり ・合唱コンクールの課題曲 ・合唱コンクールの自由曲	・声部の役割と全体の響き、歌詞の内容を理解し、音楽表現を工夫して声を合わせて歌う。 ・子音の立て方や母音の伸ばし方、ブレスのコントロール、フレーズを生かしたブレスの仕方など基礎的な技能を身につける。	・曲想の変化を的確に捉え、表現を工夫して歌う。 ・歌詞の発音、他の声部の声に合わせて歌う技能を身につける。
		27			
		28			
		29			
	12	30	○総合芸術の魅力 ・「アイダ」	・音楽を形作っている要素や構造と曲想のかかわりに関心を持ち、主体的に鑑賞する。 ・音楽を形作っている要素や構造と曲想のかかわりを感じ取り、文化的背景や、特徴を比較して聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさを味わって聴く。	・ストーリーを理解し、場面と音楽との関わりを感じ取る。
31					
32					
33					
1	34	○西洋音楽史 ・バロック～古典派 ・古典派～ロマン派 ・ロマン派～国民楽派 ほか	・おおまかな音楽史の流れを理解し、時代ごとの代表的な楽曲を鑑賞する。	・音楽がどのように変遷しているのか、特徴をつかみながら鑑賞する。	
	35				
	36				
	37				
2	38	○日本歌曲 ・荒城の月 ほか	・日本語のもつ抑揚と旋律の関わりを理解し、旋律のまとまりを感じながら音楽表現を工夫して歌う。 ・日本語の特徴的な発音を理解し、技能を高めて歌う。	・日本語の抑揚を感じ取りながら旋律の動きにふさわしい歌い方を身につけて歌う。	
	39				
	40				
	41				
3	42	○歌詞の内容や曲想を感じ取って ・卒業式の歌 ほか	・歌詞の内容や声部の役割や全体の響きに関心を持ち、主体的に学習に取り組む。 ・歌詞の内容を生かしながら表現を工夫する。 ・音楽表現をするために必要な技能を身につける。	・自分たちの声部の役割について、パート毎で話し合い、表現に生かす。	
	43				
	44				
	45				